

Kaisei Family

Father and Mother, I Love You ♡



特集 入試必勝アドバイス

開成公開テスト成績アップ者
&成績優秀者

夏なび優秀者発表

中学生読解・作文力検定
成績優秀者

《好評連載》

That's雑学
先生からのおすすめ本



入試必勝 アドバイス

【国私立中学校受験編】 【大阪市立中高一貫校受験編】 【高校受験編】 【大学受験編】



入試までの残された期間に何をすれば勝てるのか？
受験生ならだれでも感じる疑問に、
開成教育セミナー・エール進学教室のベテラン教師陣から
必勝アドバイスをお届けします！！

今月の
1枚



冬は気温が下がり大気の静謐^{せいひつ}さが増します。
加えて雪の純白が、澄み切った青空の透明感を際立たせます。
この国では、季節ごとに異なる自然の美を味わうことができます。
自然を畏れ敬^{おそ}う気持ちを持ち続けたいものですね。

24
お知らせ

22
塾生が描いたイラストコーナー
アンケートより

21
開成教育グループ会員サイト

20
先生からのおすすめ本

19
中学生読解作文力検定成績優秀者

18
夏なび優秀者発表

16
That's 雑学

12
開成公開テスト成績アップ者&成績優秀者

3
入試必勝アドバイス

2
今月の1枚・目次



入試まで残り2か月となりました。

この時期に何をすべきなのか、小6生の皆さんは1日1日の重みを感じている頃でしょう。そんな今、すべきことを各教科ごとにまとめてみました。

国私立中学校入試は短期決戦となり、一定期間で次々と試験がやってきます。確実に成果を出すにはしっかりと作戦をたてていくのが大切。体調管理を含め、できること・やるべきことを精査して当日に臨みましょう!!

入試必勝 アドバイス



国私立中学校受験編

社会

浅田俊朗 先生



社会は、ここから一番成績が伸びる科目です。

一冊の問題集を繰り返し解くこと。

どんなテキストでも構いません。これと決めた一冊の問題集を何回も解きましょう。新しい問題集はいりません。『コンプリーション』でも良いですし、自分でまとめたノート覚えていくのも良いでしょう。その時に気をつけてほしいことがあります。それは「答え合わせを丁寧にすることです。不注意なミスは、入試において命とりです。せっかく覚えた知識も覚える段階で間違えていると、元も子ありません。ミスが少ない人は、総じて答え合わせを丁寧にしています。丁寧にしているからこそ自分のミスが多いことに気づき、次にそれを活かしていくのです。「おれ、天才。おれ、できるし」と言っている人ほどミスは多いのです。ミスをなくすことが得点アップにつながることを肝に銘じてくださいね。

一問にこだわりすぎないこと。

たとえば、君たちが問題を解いていたとします。「これ、なんか思い出しそうだ」と言いながら、かなりの時間を費やしていた経験はありませんか?それはもうやめましょう。入試までの時間は限られています。答えられなかった問題はチェックを入れて、すぐに次の問題へ進みましょう。そうしていくことで一冊を終える時間が短くなります。問題集を繰り返し解きましょうと先ほど述べましたが、人間はどうしても覚えたものを忘れるものです。言葉を覚えてじぶんのものにするには忘れないようにすればよいのです。一冊を仕上げる時間が短ければ短いほど、2回目に解くときには1回目にできなかった言葉を覚えているものです。

理科

沖口太郎 先生



入試前の冬、この時期だとさすがにほぼ仕上がっていますよね。暗記事項での抜けを、少しでも減らすのが受験生のつとめです。この時期に仕上がっているのは受験生として当然のことで、できていて当たり前ぐらいに思っておきましょう。

各分野に弱点は残していませんか。残した状態で入試日を迎えることのないようにしてください。丸付けの際に結果をよく見て、たとえあっても勘で答えたような問題を含め、少しでも怪しい部分を見つけたりひととおり復習を行ってください。その問題のみならず、関連事項の抜け落ちは少なくないかと思われる。弱点分野をできるかぎり克服して入試に臨みたいものです。

そして、この時期は問題にどンドンあたり傾向をつかんでいってください。どこに注意しなければいけないのかはその時その時で変わります。出題者の意図を読み取った上での的確な解答ができるよう心がけましょう。似通った文や図のある選択問題では、違う部分を見つけて明らかに間違えているものを消していきましょう。また、計算に時間がかかりすぎるようではいけません。工夫できる部分は工夫して、速くそして正確にできるようにしていきましょう。計算を何度もやり直していたらそれこそ時間の無駄になります。一発できちんに行きましょう。

もちろん、**時間配分**にも気をつけたいといけません。じっくり考えすぎも考え物です。出題ミスなどで全員一律に得点となる場合のことも考えましょう。結果として時間が足りずに終わってしまったことが不利になりかねません。

国語

中尾圭子 先生



国語は取り組み方次第で、まだまだ成績を伸ばせる科目です。そのためには、「**本番さながらの取り組みをする時間をつくること。**」

過去には、集中力を高めて本番の緊張感を演出するために「**身支度を整えて問題を解いた**」という先輩もいました。過去問題に取り組む場合、開始とともに問題の大問の構成と設問を数分で確認し、自分なりの時間配分を考えて解いてみましょう。「なんとなく」解き進めてはダメです。たとえば、漢字や語句問題が大問で分かれている場合などは先に解いたほうが落ち着くし、残りの文章題の時間配分を計算しやすくなります。

解く際に大切なことは、授業で習ったことを実践することです。問題文を読みながら重要箇所を線を引き確認していますか?説明的文章なら「**キーワードや筆者の主張**」に、物語なら「**登場人物の行動や心情部分**」にです。また、設問を解きながらも線引きは増えていきます。たとえば、問題文の抜き出し部分(字数確認や抜き出しミスチェックのため)や記述の解答を作成した根拠となる部分などです。印をつけることによって、自分の思考を「見える化」することができます。試験だからこそ、制限時間内で普段通りの解法を実践するのです。

受験生から「**時間がないので設問と、問題文の傍線部の前後だけを読んで解いた**」と聞かされることがあります。問題文全体を読んで大まかな内容でも理解していないと、設問の選択肢で新たな情報が追加されてしまうので、内容の正誤を見極めることができなくなってしまいます。また、設問にある書き出しや文末の条件、使わなければならないことなどは、制約だと思わずにヒントなのだと思って必ず使う(当然使わないと×になります)ようにしましょう。

最後になりますが、日常生活の中にも国語力を上げるヒントはあります。聞いた内容を正しく伝達することや資料から必要な情報を見つけ出すことなどです。これなら、毎日国語の勉強はできるはずですね。

算数

吉野要 先生



入試までの残り日数も限られてきましたので、今から優先してやるべきことをお伝えします。

「実力の差は演習量の差に比例する。」

ライバルよりも1問でも多く問題を解くことが合格の鉄則ですが、演習量を増やすには次のことを今一度意識してください。

1. 基礎基本に立ち返って、計算の正確さとスピードを向上させる。

計算が速く、正確にできないと問題を多く、解くことはできません。学校に行く前に計算プリントを毎日1枚ずつするのも効果的です。また「**単位**」ももう一度確認しておきましょう。

2. 大問ごとに時間を決めて解く。

5分、10分とその問題を解くのに時間を設定してください。全部で50分、とやっていると時間通りには解けません。1問が設定時間以内で解くことが出来れば、予定していた問題数より多くの問題を解くことができます。また1問ごとに時間を設定すると、集中力がアップします。良いことづくめですね。

3. 解答の解法を上手く使う。

わからない問題があった時そのままにははいけません。すぐに対応しましょう。その時に教科書を引っ張り出して調べるのがベストですが、時間がなければ解答の解法をしっかり読んで、真似して書いてみましょう。ただしこれで満足してはいけません。書き終わったら自分の力でもう一度解いてみましょう。それでも解法がよくわからないときは、先生に質問してみましょう。

「最後に自信を持ればおそれるものは何もない。」

自信をもつには、1~3を実践すること。やることをやったら自信はいつのまにかついています。ただし過信は禁物。いつでもチャレンジャーの気持ちでお願いします。



6年生のみなさん、入試が行われる1月23日(土)まであと70日を切りました。

受験生としてやるべきことが見えている反面、受験への不安な気持ちもあるでしょう。でも大丈夫!あなたを応援する人が周りにいるからです。

4人の先生方が書かれたアドバイスを読んで、さらに自信をつけてください。あなたの目標に向かう気持ちが夢をかなえる力になるはずです。がんばろう!

入試必勝 アドバイス



大阪市立中高一貫校編

適性検査Ⅱ 【算数】

渡邊智之 先生

適性検査Ⅱの算数は、平成30年度の問題から傾向が変わりました。後半の大問2は理科の要素が取り入れられ、その内容も浮力、力のつり合い、飽和水溶液や濃度といった中学校で本格的に扱うようなものになっています。予備知識がなくても、問題の設定を理解し提示されている公式を使えば正解できるものの、やはり類題に取り組んだ経験があったほうが有利かと思います。塾で取り扱った問題を繰り返し解いて、身につけるようにしてください。また、今年度の開成咲くや・水都模試も上記の傾向を踏まえた出題となっていましたので、受けた方は今一度問題を見返してみてください。**問題文の意味を素早く正確に理解できる力**が必要であることと、**問題の取捨選択と時間配分**に気をつけることは言うまでもないでしょう。

本番では解ける問題を確実に正解することに集中してください。普段なら正解できる問題も緊張等によりミスしてしまうのが入試です。周りの人を気にせず、自分の力を発揮することだけを考えてください。残念ながらどんなに努力してきても本番で力が発揮できないこともあります。そのリスクを減らすことができるのも努力しかありません。

みなさんの健闘を祈ります。



適性検査Ⅱ 【国語】

小谷真奈 先生

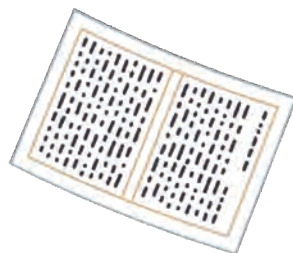
☆**作文の練習の際、結論を工夫し、こだわる。**

適性検査Ⅱは、作文での勝負です。60分で400字の作文を2題書くという、時間には余裕を持てる試験ですから、適性検査Ⅰの作文と同様の書き方をしてはいけません。適性検査Ⅰは、時間勝負でしたね。では、適性検査Ⅱはどこが勝負になるのでしょうか?それは結論です。適性検査Ⅰの300字から、適性検査Ⅱの400字という、100字の増加。この増えた文字数は、結論にあててください。序論と同じような内容ではなく、「**自分の意見+未来の展望(目標)+目標達成のための努力**」を書きましょう。ありきたりな内容にならないよう、あなただけの結論にしてくださいね。読む人(自分の好きな人でも可)をひきつけたい!と思いを入れて書くと、文章に表れますよ。残りの期間は、これらを意識して作文を書いてみてください。

☆**知識は2ヶ月間でも増やせる!**

咲くやこの花中学校言語分野の過去問題を見たことはありますか?志望している人はもう解いていますよね。昨年問題では、ことわざの意味を作文の中に書かなければいけませんでした。また、文化庁による「国語に関する世論調査」は、資料読み取り問題でよく出てくる題材です。こういったものは、今からでも覚えたり調べたりして身に付けることができます。また、水都国際中学校の過去問題でも、国際文化交流や地球温暖化について出題されているので、今まで小学校で習ってきた社会を復習すれば、作文の引き出しが増えます。

これらのような努力をこの2ヶ月間でコツコツ積み重ねれば、みなさんの大きな武器になるでしょう。今からでも遅くありません。誰よりも多い知識を持って、試験に挑んでくださいね。



適性検査Ⅰ 【算数】

若崎哲生 先生

適性検査Ⅰの算数は問題文が長いので、集中してしっかり読まないといけない答えを出すことができません。したがって日頃から問題を解くときは、それを意識して解くようにしましょう。また、**計算力**はとても大切です。今まで受けてきたテストで、考え方は合っていたのに、計算ミスで間違った答えを書いてしまった人も多いのではないのでしょうか。計算力は一朝一夕で身につくものではありませんから、毎日15分は計算問題をやる習慣を身につけましょう。あとは小学校5年生から今までに習ってきた単元は、もう一度復習しましょう。ウインパスを持っている人は、小学5年生の分から解き直しをするのがよいと思います。特に平均、単位量当たりの大きさ、速さ、割合、比、場合の数はよく出題されるので、念入りに復習してわからないところは先生に教えてもらいましょう。もちろん教えてもらってからが大切です。しっかり自分でできるようになるまで、何度もやり直しましょう。1学期で使用した適性検査Ⅰ対策問題集ももう一度やり直しましょう。

さて、入試まであとわずかになってきました。ここまで一生懸命頑張ってきた皆さんが試験当日に自分の力を発揮するために、一つ先生が大切だと思うことを言います。それは「**基本動作を意識する**」ということです。毎日、朝起きてから寝るまでの間にいろいろな「動作」をしたいと思います。一つ一つの動作を大切にしたいのです。勉強する時の姿勢やご飯を食べる時の姿勢、歩く時の姿勢、家に帰って靴をきちんと並べる、人にきちんとあいさつをする・・・など。今まで無意識にしていたことを意識すると、いろいろなことに「気がつく」ようになります。そしてそれは皆さんを大きく成長させる礎になります。できれば入試後も続けてほしいです。受験は自分を成長させるための一つの大切な通過点。本当に目指すべき自分の明るい未来のために、最後まで頑張ってください。

適性検査Ⅰ 【国語】

近藤竜二 先生

国語の問題を解くときに最も大事なことは何だかわかりますか?それは、「**聞かれた事に対して正確に答えること**」です。何を答えないといけないのかを問題文からしっかりと理解する必要があります。つまり、**問題文をよく読むこと**がとても大事になってきます。当たり前のことだと思われるが、国語の成績が伸びない原因は「問題を読めていない」というところにあります。作文を書くときも同じです。お題をしっかりと読んで、そのお題に合う作文を書かなければなりません。問題文の条件を見落として作文を書いてしまっていると、その時点で大きな減点になってしまいます。そして、適性検査Ⅰの国語の問題を解くときには、もう一つ意識しなければならぬことがあります。それは**時間配分**です。適性検査Ⅰでは、国語と算数合わせて45分という時間制限があります。国語もそうですが、算数の問題も難しく、多くの時間を必要とします。理想の時間配分としては国語で20分、算数で25分。国語においては、文章読解10分、作文10分の時間配分で解く必要があります。作文を書くときにはタイマーを使うと良いです。初めのうちは、「10分で書く」というよりも「作文を書くのに何分かかるか」ということを計りましょう。その後、時間制限を設けて、「この時間内に書けなかったらダメだ」という意識で取り組むと良いでしょう。このように、作文を書くときは**時間の意識**を忘れずに持っていきましょう。「**問題文をしっかりと読む**」「**時間の意識を持つ**」この2点を忘れずに勉強に取り組んでください!



国語

宇田佳史 先生

入試問題を解く力をつける最良の教材は、入試問題です。毎年、何か月もかけて練り上げられ、作成された問題を、ただ〇×をつけて終わりというのは大変もったいないことです。入試問題からいかに学べるかがカギです。

【読解問題】最も大きな配点を占める読解問題では、時間を意識した実践的な演習に取り組む時期です。しかし、スピーディに読み解くというのは、急いで文章を読んだり解いたりすることではありません。文字づらをたどるだけでなく、文章全体の構造をとらえたり、筆者の主張の要点を探し出したりできるようになることが、そのまま正しい答えを素早く導く力になります。設問を解く前にひと呼吸おいて、「この文章で一番大切な内容は何だろうか」と頭の中で問いかけてみましょう。

【古文】多くの受験生が苦手意識をもつ古文ですが、実は高校入試ではそれほど高度な内容は問われません。むしろ短期間の集中的な学習で効果を上げられるねらい目の分野です。古語や文法の基礎知識を固めつつ、多くの問題を解いて経験値を高めましょう。解説や口語訳を参照して、どこまでわかれば解けたのかを確認するなど、解いた後のアフターケアが大切です。

【作文】入試で一番困るのは、与えられたテーマで何を書いたらよいかわからない場合です。具体例・根拠などの論理構成をともなった意見は、その場でとっさに考えるものではなく、事前の仕込みが重要になります。「こういう根拠でこう考える」と言えるテーマを増やしていきましょう。読解問題の文章を題材にして考えたり、同じ課題を論点や材料を変えて二度三度書いたりすることも有効です。



理科

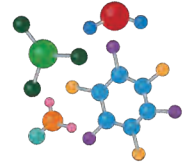
田中太 先生

「理科が苦手な人」

入試で合格を勝ち取るためには、まず知識をしっかりとつけましょう。入試問題の6〜7割は知識で解ける問題が多いので、知識で負けては合格が遠のきます。語句や定義、公式といったものはしっかりと覚えて下さい。その上でたくさん問題を解くようにしましょう。新しい問題集を買う前に、まずは今までのテストのやり直しやテキストの問題を繰り返しやるようにしましょう。わからない問題をほっておかず、わかるまで質問することが大切です。

「理科が得意な人」

難しいと感じる問題を解くときこそ、原理・原則が大事になります。それぞれの原理・原則の意味をしっかりと理解し、その意味を拡張させることで難しい問題を解くことができることが多いのです。また、実験や観察の問題では、その実験が何を調べようとしているのか、何を比較させようとしているのか、出題者の意図を感じ取る力が必要です。その力を身に着けるために普段から論理的に考え、事柄の理由や本質を考えることを習慣にしましょう。



社会

小林広典 先生

この時期は入試問題演習を中心に勉強しましょう。そして、解き終わった後で、自分はどの分野・単元が弱いのかを分析し、その部分をしっかりと復習して知識の定着に努める「つぎはぎ学習」が一番効果的です。例えば、今回は鎌倉時代がいまいちだったのでその部分の見直しをし、次の演習では世界地理のアメリカがダメだったのでその解き直しや確認をする、といった具合です。この時期は体系的に一から復習をしたくなりますが、時間的なことから考えると効果はあまり期待できず、上記の「つぎはぎ学習」が一番良い勉強法と言えます。ちなみに、各分野別の具体的な勉強のポイントが次の通りです。

【地理】

地理は「地図・資料とともに学習」が基本です。どんな用語であっても、地図中のどこに位置しているのかなどを把握しておくことが得点アップの近道です。また、資料を読み取る問題は必須なので、

気候に関する雨温図や輸出入の品目データなど、日頃から地図や各種資料をたくさん見ておくようにしましょう。

【歴史】

歴史は「時代ごとによる整理と時代(内)の流れの把握」が絶対です。どんな人物・争い・文化物であっても、それが何時代のものなのかを理解しているかで正答率がかなり違ってきます。年表を軸にしっかりした確認を繰り返しておきましょう。

【公民】

公民は「用語の理解」が大切です。3年生になってから学ぶ範囲なので、定着しづらいのは当然ですし、細かな数字や聞きなれない語句も多く登場します。その用語の意味や他との関連性などをしっかりと理解していくようにしましょう。

社会は追い込みの効く科目だからまだまだ伸びる余地がある! というのは一般論であり、しかしながら事実でもあります。上記の点に注意してしっかり取り組んでいきましょう。



入試必勝 アドバイス

高校受験編



入試まで残りわずかとなりました。この時期開成では「入試突破ゼミ」や「入試必勝ゼミ」など様々な入試イベントが開催されています。家庭学習の指針も自分の中でしっかり決定ができていますか。弱点を補強するのか、得意分野を伸ばすのか、各教科の担当教員がアドバイスします。ぜひ参考にしてみてください。

英語

高橋ひとみ 先生

英語の入試問題は「長文読解」「英作文」「文法」「リスニング」の4つに大別されます。この冬取り組むべき直前対策を確認しましょう。

【長文読解】長文を読み進めていっても、結局どんな内容が掴めきれない時があるのではないのでしょうか。それを解消するためのコツは主に4つです。1つ目は「単語・熟語」です。長文の内容を理解できない一番の原因は「単語・熟語」を知らないことです。2つ目は「指示語」です。代名詞が何を指しているのかを見失うと文章の意図がわからなくなり、誤読してしまいます。3つ目は「段落」です。長文は段落単位で内容を把握するようにしましょう。特に論説文では段落の最初と最後に要点が述べられていることが多いです。最後に「時間配分」です。試験時間は限られています。

日ごろから長文を読むときには必ず制限時間を設けてください。これら4つのコツを意識しながら長文問題に取り組みましょう。

【英作文】これは1つだけです。書いた英文を先生にどんどん添削してもらい、返却されたものをもう一度書き直しをしましょう。

【文法】新しいテキストに手を出すのではなく、今まで使用してきたテキストを何度も解きなおし、できない問題をつぶしていきましょう。

【リスニング】もちろんリスニング問題を解く量を増やし、たくさん英文を聞くことも大事です。しかし、英文を聞きとれない一番の原因は、実は単語を知らない、読めない、あるいは文法を理解できていないことです。一度理解できた長文やスクリプト(音声の台本)を、声に出して英語のまま理解しながら読む訓練をすると飛躍的にリスニング力は向上します。



数学

黒川振 先生

もうみなさんは公立および私立の過去問演習に入っていると思います。これからはこの過去問演習に集中しましょう。今回は、過去問演習のやり方の一例を示したいと思います。

まず、時間を計って解いたあと解答の確認をしますが、丸付けは○または×のみで十分です。正解を赤で書く必要はありません。数学は証明等一部の問題を除き、答えを覚える意味がありません。

またできなかった問題については、解法が分からなかったのか、計算ミスなのかをわかるようにしておきましょう。それぞれの対処の方法が変わってきます。

まず、解法が分からなかった問題については、解説をしっかりと読み込みましょう。どの定理、公式を使うのかの流れをチェックしてください。同時に周辺知識の確認も行いましょう。

例えば平行四辺形の問題が出てきたら、定義・性質・条件なども併せて確認するようにしてください。解説で不十分であれば担当の先生に聞きましょう。

そして、解法は理解できているがケアレスミスで間違えた問題は、自分で解き直しをするとともに、間違え方の確認をしましょう。特に計算ミスは意識をしなければ減らすことはできません。符号のミスや、繰り上がり、繰り下がりなどごく初歩のことから見直してください。また、途中式をわかりやすく書くことで防げることもあります。基本的なことを改めることから始めましょう。

受験までに残された時間はまだあります。やるべきことをしっかりやり抜き、受験当日にしっかりやりきったと思えるように、1日1日を過ごしていきましょう。



高3生 やり残したことの最終チェック!現役生はまだまだ伸びる!

高3の冬は、これまで培ってきた入試知識や論理を基にして、入試当日に最高のパフォーマンスを発揮できるようにハーサルを行う時期です。そのためにやるべきことは二つ。

1. インプット=「知識項目の再確認」「やり残し科目の追い込み」
2. アウトプット=「過去問演習」「予想問題演習」

知識の出し入れを繰り返しながら、自分の抜けている分野を徹底的に分析・習得し、同時に時間配分などの技術的な部分も向上させましょう。特に苦手分野では、アウトプットとインプットのバランスが大事になります。過去問演習の中などで得点が伸び悩む分野があれば、基礎知識が欠落している可能性が高いため、演習から一歩離れてインプットの勉強へと戻ること重要です。やり残し、積み残しの知識がないかの最終チェックを忘れずに。



開成ハイスクールでの冬の過ごし方

高3生は、ここからが勝負。合格までの要所に置かれた各講座をステップアップしながら、念願の合格をつかみ取ろう!

【冬期講習】

共通テストまで残り数週間となったこの時期、自分では発見がづらいやり残し単元の確認や、受験生のつまづきやすい知識を総整理します。冬期講習の頑張り次第で現役生はまだまだ得点上昇が可能です。

【1月集中授業】

年が明けるといよいよ共通テストまで3週間をきります。各科目とも集中授業期間に入り、国公立志望の受験生には共通テストにターゲットを絞った最終演習を行います。これまでにない緊張感の中の演習は、皆さんの経験として蓄積され、共通テスト当日においての最大限のパフォーマンスの発揮につながります。

また、関関同立などの私大志望の受験生にも関関同立突破講座が開講され、最後の知識確認と演習を行います。各大学の傾向を追いかけることで最後のひと伸びが可能です。

入試必勝 アドバイス



大学受験編

高1・高2生

本年度からはじまる「大学入学共通テスト」

本年度より「大学入学共通テスト」が実施されます。数学では、記述問題が3問出題されることが決定しており、記述問題を含むことで、試験時間も拡大します。また、英語・国語では単なる長文読解ではなく、文章とともに図や資料をよみとる複線型の読解が必要になってくるなど、従来の大学入試に大きな変革が訪れています。当然、現高2生だけでなく高1生もいち早く大学受験に向けた意識改革が必要です。

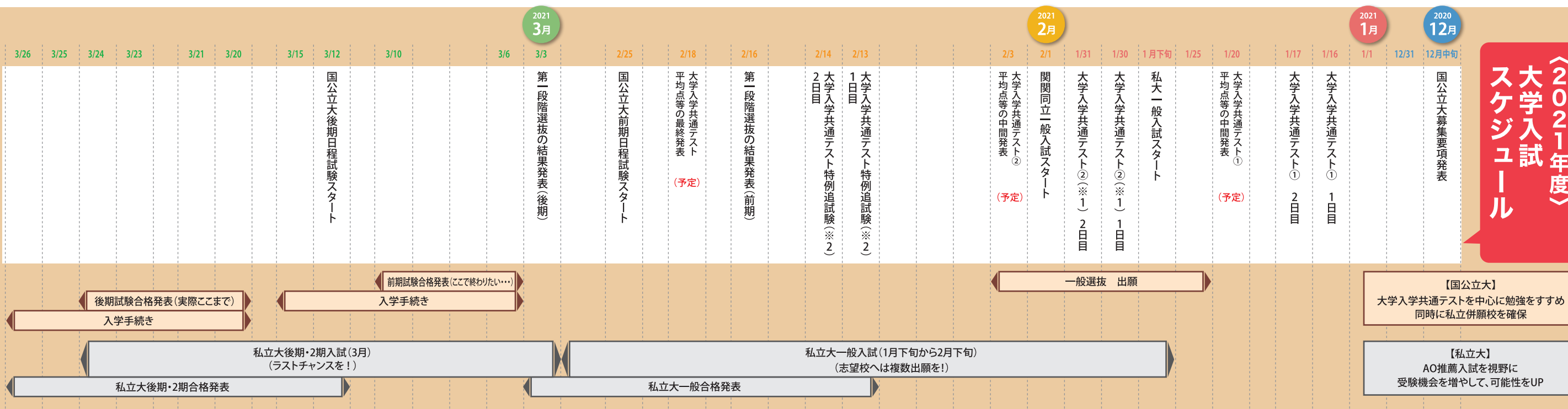
冬の勉強法

【高1生】

学校の勉強も二学期までの間でかなり進んできています。特に進度の早い数学では、三学期から早くも「数学II」の範囲に入っていき高校も見られます。数学に限らず、英語・国語などの主要科目に関しては、冬の間ここまでの苦手単元を洗い出し、復習することをお勧めします。英語に関しては、1年時で習得する英文法が、今後の読解力を大きく左右します。開成ハイスクールの冬期講習などを通じて、将来の大学受験に備えた本質的な実力を養いましょう。

【高2生】

高2生も年が明けるといよいよ受験まで残り一年となってきます。大学受験への早期対策が必要です。学校の定期テストがメインであった学習から、受験を意識した学習へ少しずつ切りかえていきましょう。大学受験に向けて、盤石な準備を整えておきましょう。



〈2021年度〉
大学入試
スケジュール

【国公立大】
大学入学共通テストを中心に勉強をすすめ
同時に私立併願校を確保

【私立大】
AO推薦入試を視野に
受験機会を増やして、可能性をUP

※ 2. 1月30日及び31日の追試験として実施

※ 1. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学業の遅れを在学する学校長に認められた者及び1月16日、17日に実施する試験の追試験を受験する者を対象として実施

That's雑学

ざつがく

家族団欒 クイズ編 WINTER

今回は「冬」にまつわる様々な雑学を、クイズ形式でお届けしたいと思います。
団欒のひとつき、ご家族で盛り上がり、寒い冬を吹き飛ばしてください。

雑学クイズ ⑧ 寒いとなりがちです。その①

寒いときにおしっこをしたあと、ブルブルと震えてしまうことがあるのはなぜでしょう。



雑学こたえ ⑧ 寒さで体が震えたり、歯がカチカチとなる生理現象のことを「シバリング」と呼びます。これは、脳が無意識に行う体温調整行動です。筋肉が動くことで熱を発生させ、体温を上げようとします。おしっこのあとでブルブルと震えるのは、失われた体温を回復しようとする動きなのです。安静時のなんと6倍の熱を生み出すことができるというのは驚きですね。

雑学クイズ ⑤ おて はいしゃく じ 御手を拝借、一本締め!

保護者むけのクイズになります。忘年会シーズンでよく見かける「一本締め」の正しいやり方をご存知でしょうか。



雑学こたえ ⑤ 「よーおっ、パンッ!」と一回だけ叩くのは、実は一本締めではなく「一丁締め」といいます。正しい一本締めの方法は「拍手を3回×3をしてから最後に1回拍手」というもので合計10回の拍手をします。「パンパンパンッ、パンパンパンッ、パンパンパンッ、パンッ!」と拍手し、綺麗に全員で合わせて終わるのが正しい一本締めとなります。

雑学クイズ ⑨ 寒いとなりがちです。その②

寒いときに鳥肌がたつのはどうしてでしょう。また、何かの役に立つのでしょうか。



雑学こたえ ⑨ 大昔、人間にもたくさんの毛があり、毛を立たせることによって、体温を保っていたからです。しかしながら、鳥肌が立つことにより毛が立って体温が逃げないようにできるのは、体にたくさんの毛や羽のある動物であって、現代の人間には何の役にも立ちません。

雑学クイズ ⑥ ダイエットをするなら…!

「ダイエットに最適な季節は冬である」正しい、正しくない?



雑学こたえ ⑥ 正しいです。本来は、寒いと身体は体温を上げようとして基礎代謝が上がるため、たまった脂肪は燃焼されやすくなります。つまり痩せる条件がそろっている季節なのです。ところが「寒いから動きたくない」ということで「正月太り」になってしまう人が多いのも事実。しっかり動けば夏よりもダイエットは効果的です。

雑学クイズ ③ 「冷たい」の語源とは?

冬はいろんなものを冷たいと感じます。ところで、この「冷たい」という言葉の語源を知っていますか。



雑学こたえ ③ 諸説ありますが、「冷たい」の語源は「爪痛い」と言われています。冬の寒さにより指先や足先の「爪が痛いほど寒い」という形容から「爪痛い」→「冷たい」というように変化しました。

雑学クイズ ① トナカイは何頭でそりを引いている?

冬といえばなんともいってもクリスマス。イブの夜にサンタクロースはトナカイがひく橇にのってやってきますが、トナカイたちは何頭で橇をひいているのでしょうか。



雑学こたえ ① 正解は9頭。ビックリですね。しかも全てに名前もついていて、ダッシャー・ダンサー・プランサー・ヴィクゼン・コメット・キューピッド・ドナー・ブリッツェン・ルドルフだそうです。このうち、赤鼻のトナカイで有名なのがルドルフです。

雑学クイズ ⑩ はっ、ハクションっ!

この季節、油断をすると風邪をひいて鼻水に悩まされることになりませんが、正しい鼻のかみ方、知っていますか。



雑学こたえ ⑩ 鼻水をすすり続けていると、怖いことに細菌が耳まで達して中耳炎になる恐れがあるので、鼻をかむ必要があります。正しい鼻のかみ方は、次の通りです。

- ①片方の鼻をきちんと押さえて片方ずつかむ
- ②鼻水を押し出す前に口から息を吸う
- ③ゆっくり小刻みにかむ

両方同時にかんだり、力まかせにかむのは禁物ですよ。

雑学クイズ ⑦ どれが一番暖かい?

ここで三択問題です。次のなかで、寒い冬の夜を一番効果的に暖かく寝られる方法はどれでしょう。



- ①身体の上に毛布をかけてその上に掛布団をかける
- ②身体の下に毛布を敷いて身体の上に掛布団をかける
- ③身体の上に掛布団をかけてその上に毛布をかける

雑学こたえ ⑦ ②が正解。敷布団の上に毛布をかけ、その上に寝て掛け布団をかける方が毛布の保温効果を得やすくなります。毛布の上に寝ると毛布が体温をキャッチし、掛け布団が保温してくれるので暖かくなります。ちなみに筆者は昔からずっとこの方法で寝ています。

雑学クイズ ④ こたつで丸くなる〜♪

寒い冬の日にはコタツでぬくぬくしたいものですが、コタツの光はなぜ赤いのでしょうか。



雑学こたえ ④ 「遠赤外線の赤い光が身体を温めてくれるから」は大間違い。実は赤い色はただの演出で、塗料の色に過ぎません。赤くすることで温かい雰囲気を出しています。確かに、もしもコタツの光が真っ白だったら、温かい感じがしませんもんね。

雑学クイズ ② ゆ〜きやこんこ、あられやこんこ♪

「ゆ〜きやこんこ、あられやこんこ!」の歌詞にある霰ですが、霰と霰の違いがなんなのか、みなさんはご存知ですか。



雑学こたえ ② 霰は直径が5mmから50mmの範囲にある、氷の小粒またはかたまりのことを言います。ときにはそれ以上の大きさにもなります。5mmのものでも当たればかなり痛いですが、大きな塊になると自動車のガラスを割ったり、住宅の屋根を貫通してしまうぐらいになります。霰は雲から落下する白色不透明(雪霰)、半透明または透明(氷霰)の氷の粒で、直径が5mm未満の大きさのものを指します。

いかがだったでしょうか。「なるほど!」という雑学はありましたか。それでは次回は新春号でまたお会いしましょう。

Version up!

開成NETの新コンテンツも続々登場! 開成教育グループ会員サイト

みんな、もう登録したかな?

簡単ログインで成績や請求情報もスマホで確認!プッシュ通知機能付きでとっても便利!
オプション講座や外部模試もアプリから申し込みます!

大切な“お知らせ”をすぐに確認!
開成NETで“自宅でも開成”

塾生の皆さんなら講習会のビデオも公開テストのビデオも年度末までいつでも視聴可能です!新コンテンツや新機能もどんどん追加中!



1 スマホと「仮ID通知書」を準備しよう! (PCやMacからでもご利用いただけます)

スマートフォンまたはタブレットまたはパソコン

会員サイトアプリ仮ID通知書

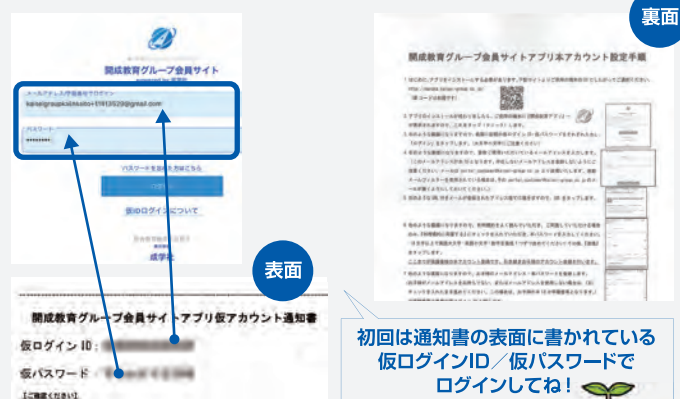
※Web版はパソコンのブラウザでこちらから<https://naruka.kaisei-group.co.jp/web/>

※お手元がない場合は下記のサポートダイヤル、またはお通いの教室まで。

2 App Store・Google Playで「開成教育アプリ」を検索⇒インストール



3 会員サイトアプリで、必要事項を入力し、「設定手順」に従って操作してください



初回は通知書の表面に書かれている仮ログインID/仮パスワードでログインしてね!

4 はじめに保護者様用を登録し、続いて塾生用も登録してください

5 新しくなった「開成NET」を確認してね!あの先生も出ているよ!

▶アプリでログイン▶左上のメニュー(≡)を開く▶開成NET▶科目を選び、動画を選ぶ▶視聴する

大阪府公立入試過去問解説 数学 令和2年 数学C
～ 門脇治先生～

英検対策 NET講座 2級
～ 高橋ひとみ先生～

入試対策プラス10 オンライン必勝講座 理科
～ 飯尾建太先生～

読解・作文力検定 第13回 6級解説
～ 小谷真奈先生～

わからないことがあったら、「開成教育グループ会員サイトアプリサポートダイヤル」に電話してね!

開成教育グループ会員サイトアプリ サポートダイヤル ☎ 0120-643-377 (平日 AM10～PM6 当塾休業日を除く)

先生からのおすすめ本

We want you to read these books.

小…小学生におすすめ 中…中学生におすすめ 高…高校生におすすめ

その他おすすめ本

- ①嫌われる勇氣 古賀史健・岸見一郎 著 /ダイヤモンド社
- ②火花 又吉直樹 著 /文藝春秋
- ③官ちゃん英語で道案内しよう! 菅広文 著 /ひあ



今回私がおすすめする本は歴史についての本です。タイトルの通り、芸人の方が著者の本です。著者名ではもしかすると、「ピン」とこない方もいるかもしれませんが、「ロザン」というコンビ名で活動しておられる。相方さんはクイズ番組でおなじみの京大出身芸人、宇治原さんです。内容は、「歴史は物語で覚える」…よく聞く話だと思えます。ですが、歴史が苦手な方はそれが作れないから困るのですよね。そこで、この本をぜひ読んでいただきたいです。宇治原さんの「歴史は物語で覚える」から話が始まり、「じゃあ、その物語話してよー」という展開で進んでいきます。縄文時代から現代まで物語は続いており、「縄文土器に縄目模様をつけた人と話してみた」や「中大兄皇子と中臣鎌足の漫才」、「明治政府の偉いさんとクイズ大会」のように芸人さんならではの面白い笑いとクイズ大会の内容となつていきます。一見おふざけの本かと思つかもれませんが、授業で出てくる歴史の用語もしっかり出てきます。しかも、なぜその法令ができたのか、なぜその行動をとったのか、結果どうなったのか物語なのでとても分かりやすいです。やり取りの中で少し古い芸人ネタなども出てくるので、そこはお家の人に聞いてみてください。

京大芸人式 日本史 菅広文

「京大芸人式 日本史」 菅広文 著 幻冬舎

平大樹

先生おすすめ

中高

その他おすすめ本

- ①火車 宮部みゆき 著 /新潮文庫
- ②下町ロケット ガウディ計画 池井戸潤 著 /小学館文庫
- ③永遠の0 百田尚樹 著 /講談社文庫



もし生まれ変わることができるのなら、次の人生は医者という仕事を選択したい。この小説の主人公、栗原一止(いちと)は信州にある「24時間、365日対応」の病院で働く、29歳の内科医である。ここでは常に医師が不足しているため、専門ではない分野の診療をするのも日常茶飯事なら、夜勤の連続で睡眠を3日取れないことも日常茶飯事である。妻・ハルに献身的に支えられ、経験豊富な看護師と、変わり者だが優秀な外科医の友人と助け合いながら、日々の診療をなんとかこなしている。そんな栗原に、母校の医局から誘いの声がかかる。大学に戻れば、休みも増え愛する妻と過ごす時間が増える。最先端の医療を学ぶこともできる。だが、大学病院や大病院に「手遅れ」と見放された患者たちと、精一杯向き合う医者がいともいいたくない。悩む一止の背中を押してくれたのは、死を目前に控えた高齢の癌患者・安曇さんからの思いがけない贈り物だった。2011年に映画化されて、櫻井翔さんと宮崎あおいさんが、夫婦役で共演していますので、ご存知の方も多いのではないのでしょうか。この作品の作者は、現在も信州で医師として病院にご勤務されています。命という尊いものと日々向き合っています。医師たちの懸命な姿に胸をうたれ、頬をつたわる熱い涙の存在に気付くことがきっとあると思います。



「神様のカルテ」 夏川草介 著 小学館

浅井(あらい)直彦

先生おすすめ

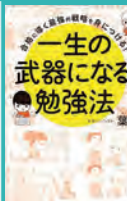
小中高

その他おすすめ本

- ①探偵ガリレオ 東野圭吾 著 /文春文庫
- ②少年探偵スラウン ドナルド・ソボル 著 /福成社文庫
- ③インド人教師が使っている本物のインド式数学の本 ヴァーリ・ナーセ 著 /二見書房



毎日勉強に励む小・中学生の皆さん、勉強に対するお悩みはありませんか?特に「どうやって勉強しているのかわからない」と勉強法に対する悩みを抱いたことがあるのではないのでしょうか。私も開成教育セミナーの「教師として、そんな生徒の皆さんに良いアドバイスができるよう日々努めています。そんな時、私はこの本に出会いました。この本では、勉強には「新しく覚えること」、「覚えたことを忘れないこと」の2つの側面があるといった、勉強の本質が記されています。これらを理解したうえで勉強に臨むかどうかによって、皆さんの勉強に対する姿勢は大きく異なってくるでしょう。もちろん、各教科の勉強法についても示してくれています。私も自分に合った勉強法を見つけることや、それを実践することの大切さを、この本から学びました。小・中学生のときにこの本に出会ったかったと、思ってしまったほどです。小・中学生を対象とした本となっておりますが、高校生や保護者の皆さまにもおすすめの本書です。勉強は私たちの人生にとって切り離すことのできない存在です。なので、その勉強の方法を知ることがとして、こちらの本をおすすめします。



「一生の武器になる勉強法」 KADOKAWA 葉一 著

藤村(ふじむら)俊輔

先生おすすめ

小中高

アンケートにお答えいただいた方から抽選で紹介した本をそれぞれ2名様ずつプレゼントいたします。